

## むすめ 娘 トミへ家元<sup>けいしょう</sup>継承

---

戦争<sup>せんそう</sup>も終わり、ナヲも70才<sup>す</sup>を過ぎていましたが、大和<sup>やまと</sup>遠州流<sup>えんしゅうりゅう</sup>を継ぐ者<sup>つ</sup>が決まっていませんでした。弟子たちや身内からは娘<sup>むすめ</sup>のトミへ継承<sup>けいしょう</sup>してほしいと言われていました。

しかし、ナヲはトミが教師<sup>きょうし</sup>を続け<sup>つづ</sup>ていたいという気持ち**が強い**ことを感じていました。



たでぬま 蓼沼トミ (紫水)

トミはいろいろな人の意見を聞くとともに指導を受け、  
やはり自分が継ぐことが一番良いことだと思い、大和  
遠州流茶道の家元を継ぐことを決めました。

ナヲにとってこれ以上の喜びはなかったのです。

昭和22年（1947）トミ（紫水）は大和遠州流第19代  
静月菴として家元を継承しました。

トミさんが大和遠州流の  
代表となる家元を継ぐことにな  
ったMO～！

